

5 パブリックコメントへの対応

No.	該当箇所	意見等の概要	意見に対する概要
1	第1編第2章5 高齢者の外出状況 (P11)	データが不明のためアンケート結果としてダメ。 N数、回答者数、不回答者数もわからない。	頂いたご意見を参考に、資料説明に、アンケートの配布数と回収数の記載を加筆修正いたします。 〈P11内に下線部分を追加〉 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書（令和5年5月） <u>配布数5,000票、回収数（n）3,216票</u>
2	第2編第1章第1節 高齢者の就業支援 (P17)	シルバー人材センターしかないのか？	高齢者の就労支援については、P19の施策に、シルバー人材センターのほかハローワーク魚津や市商工会議所等とも協力しながら、高齢者の働く環境づくりに努める旨記載しております。 〈P19内に下線部分を追加〉 ハローワーク <u>魚津</u>
3	第2編第1章第3節 ボランティア・NPO活動の育成・推進 (P22)	NPOの数や内容を書くべきではないか。 一般の人は知らないのでは。 市社協が把握している？	くろべボランティアセンターは、市内におけるボランティア活動の拠点として黒部市社会福祉協議会内に設置されており、ボランティア活動に興味関心のある個人、団体等が、登録されています。くろべボランティアセンターへの登録は毎年更新となっており、登録されている個人及びNPO法人を含む団体は毎年一定ではありません。本計画内にはNPO法人の数や活動内容等の記載はいたしません。ボランティア活動に興味関心がある元気高齢者の皆さんには是非くろべボランティアセンターのほか、各地区に結成されている地区ボランティア部会にお声がけいただきたいと考えております。 〈P23の施策に以下の1文を加筆〉 ・「市民と行政が互いに協働・共創するまち」を実現するため、市民・NPOなど各種団体と連携し、きめ細やかなサービスを提供するように努めます。

No.	該当箇所	意見等の概要	意見に対する概要
4	第2編第1章第4節 高齢者が出かけやすく、出かけて楽しいまちづくりの推進 2 高齢者の交流の場の確保 (3) 市内各地区公民館 (P26)	公民館までいけない人の対策に苦慮している。 その対策がないから出かけない一因でもある。(若栗では青パト車で送迎していると聞くが)	本市総合振興計画では「町内公民館の施設の機能を確保し、町内単位のコミュニティの維持に努める」こととしており、住民主体の通いの場など、地区公民館より、更に身近な存在である町内公民館を拠点として活動しておられる例も多数あり、市としても、身近な施設の活用を推進しています。また最も身近なコミュニティの拠点である町内公民館を、より活用していただけるよう配慮するとともに、「地区公民館までいけない人」への対応については、公共交通等を含め、関係部局とも連携し、引き続き検討してまいります。
5	(3) 市内各地区公民館 (P26)	各地区公民館等で開催していることの内容に言及すべきでないか	本計画では「高齢者の交流の場の確保」の一つとして、「各地区公民館」の在り方を位置付けています。各地区公民館では、地区の実情に応じた事業を行っており、その内容は画一的なものではありません。市としては、公民館が地区の特色の場を生かした交流の場としてより利用しやすくなるよう、引き続き支援するとともに、「黒部市イベント参加申込システム」等を活用し、各地区公民館に限らず、市内で開催されるイベントについて、情報発信してまいります。 〈P26内に下線部を加筆〉 ・高齢者が参加しやすい場として環境整備を行うとともに、「黒部市イベント参加申込システム」等を活用し各種イベント情報発信に努め、高齢者の社会参加を促します。
6	全体	今後の具体的な施策の工程表・スケジュールに触れていない。 委員会があると思うが…不明 総合的にPDCAに触れていないのでは。	策定委員会は計画策定をもって解散となりますが、行政内部では、施策毎にPDCAサイクルに基づき、検証・評価を行っており、3か年の計画期間中においても必要に応じて、見直しを行っております。 なお、頂いたご意見を参考に、第1章高齢者福祉計画の概要に「4 計画の推進」として加筆修正いたします。 〈P3内に加筆修正〉
7	全体	その時々市の担当者はがんばるが、3年くらいで人事異動している。 果たしてそれでうまくやっていけないのではないか。 これはどの事業、どの部署でもいえることですが。	本計画は、これから3年間の本市の高齢者施策を推進するためのものです。担当職員が異動しても、市としての考え方を引き継ぐように努めます。